



2016年6月27日

【臨時レポート】英国のEU離脱について

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、「BNY メロン・グローバル好利回り CB ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

英国のEU離脱の結果を受け、当ファンドに対する影響や方針について下記の通りご説明いたします。

敬 具

記

金融市場への影響について

- 1.英国の株式市場は、国外での企業活動のコスト上昇が影響するため軟調に推移すると見えています。FTSEの上場企業の多くはグローバルにビジネスを展開していますが、英国の占める比重は大きく、コスト上昇の影響は避けられそうもありません。
- 2.英ポンドは、英国GDPへのマイナスの影響を織り込みながら、弱含む展開が継続し、対米ドルで1.30あるいは1.25まで下落する可能性もあると考えています。
- 3.英国債は、いくつかの要因により不安定化が予想されます。英ポンドの下落は、インフレにつながり、英国債利回りの上昇要因となります。一方で、英国経済の成長鈍化に伴い金融緩和政策の継続が見込まれることは、利回りの低下要因となります。
- 4.英国不動産は、外国人投資家にとって魅力が低下するため、マイナスの影響を受けると予想します。
- 5.英国のEU離脱は、他のEU加盟国の更なる離脱に道筋を付けることになるかもしれません。そのため、欧州周縁国の債券は短期的には売られるで可能性が高く、次にEU加盟国で救済措置が必要となった場合は、これまでよりも離脱の懸念が高まると思われます。
- 6.ユーロの下落基調も続くと予想します。欧州連合としてのEUそのものへのリスクの高まりに加えて、イギリスの分担金がなくなることの財政への影響も懸念されます。
- 7.グローバル市場の脆弱さを勘案すると、今回の英国の投票結果は少なくとも短期的には投資家のリスク回避姿勢を強め、安全資産と言われる債券やスイスフラン、円といった資産へのニーズを高めることになると考えています。

今後の見通しと運用戦略

英国の投票結果はEU離脱という予想外な結果となり、世界中で質への逃避が見られました。このような環境下では、グローバル・ハイインカムを含むキャリー戦略は全般的に悪影響を受けやすく、高利回りCB市場にとっても大きなマイナスとなります。また、CBは株式市場との連動性が高いといった商品特性から、株式市場の下落もマイナスとなります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。



BNY MELLON

英国の国民投票による市場変動性の高まりを受けて、主要国の中央銀行は金融緩和政策を継続すると見込まれます。国債市場にはプラスであり、実際、投票結果後最初の取引日では市場参加者も同様の見通しを持っていました。

CB 市場においては、当面ボラティリティが高止まりすることが見込まれます。また、投資家が購入に対して慎重になる結果、市場の流動性が大きく低下する可能性も否定できません。しかしながら、中期的には、Brexit(イギリスの EU 離脱)全体のプロセスに長い時間が必要であること、Brexit の影響が市場やマスコミで指摘されているほど劇的ではないことなどが投資家に認識され始めれば、金融市場は徐々に正常な状態に回帰し、CB の投資環境も改善すると考えています。また、CB の利回りが上昇した局面では、投資妙味が高い銘柄を魅力的な利回り水準で購入できる可能性が高まると見えています。この機会をうまく捉え、ファンド償還時の最終的なリターンを高めるために、引き続き、慎重な姿勢でポートフォリオの運営を継続する方針です。

また、為替ヘッジコストについては、英国の国民投票の結果などを受けて若干上昇しているものの、米国の早期利上げ再開観測が後退していることなどから、中期的なヘッジコストの見通しには大きな変更はありません。

以上

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY Mellon アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。



BNY MELLON

＜ファンドのリスク＞

当ファンドは、主として米ドル建ての転換社債への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。また、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「発行企業の信用リスク」、「流動性リスク」、「為替変動リスク」、などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

直接ご負担いただく費用

○購入時手数料:

2.16%(税抜 2.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を、購入申込受付日の翌営業日の基準価額(当初申込期間中は、1口=1円)に乗じて得た額となります。

○信託財産留保額:換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.7%の率を乗じて得た額とします。

間接的にご負担いただく費用

○運用管理費用(信託報酬)

毎日、信託財産の純資産総額に年率1.1178%(税抜1.035%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産中から支払われます。

○当ファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬

委託会社の受取る報酬には、当ファンドにおいて運用の指図権限を委託しているメロン・キャピタル・マネジмент・コーポレーションへの投資顧問報酬が含まれます。その額は、信託財産の純資産総額に、年率0.37%を乗じて得た額とします。

○その他の費用

監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等、その他の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。

(注)この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。

● 設定・運用は

BNY メロン・アセット・マネジмент・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第406号

[加入協会]一般社団法人 投資信託協会 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会

/ 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY メロン・アセット・マネジмент・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。